

**令和7年度 東濃圏域障がい者総合支援推進会議
就労・雇用支援部会（障がい者就労支援圏域ネットワーク事業）
報告書**

圏域名	東濃圏域	委託先法人名	社会福祉法人 陶技学園
-----	------	--------	-------------

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労支援推進のため、関係機関等の情報・課題の共有を行う。	東濃圏域障がい者総合支援推進会議就労・雇用支援部会構成団体・機関	＜東濃圏域障がい者就労支援ネットワーク全体会議＞ ◆令和6年度報告及び令和7年度計画 ◆障がい者就労の現状と課題（ハローワーク、特別支援学校） ◆新規事業所紹介	7/4(金) 13:30～ 15:30	東濃西部総合庁舎 5階大会議室	68名 (57事業所)	今年度の活動予定、東濃圏域における障がい者就労の状況や、特別支援学校の進路状況等について情報を周知・共有することができた。 今回は昨年度以降に新規開所した事業所の紹介の機会を設けた。該当する事業所には事前に希望を募り、5事業所が発表を希望した。事業所の活動内容や方針などを周知することができた。
	就労継続支援B型事業所における工賃の向上、事業の充実を促進する。	就労継続支援B型事業所	＜令和7年度 第1回就労継続支援B型事業推進協議会＞ ◆販売会の進捗状況 ◆意見交換(グループワーク) ①事業所の課題、困りごと ②市役所福祉課・社会福祉課との意見交換	8/8(金) 13:30～ 15:00	【多治見会場】 東濃西部総合庁舎 【恵那会場】 恵那総合庁舎 ※両会場をZoom接続	36名 (31事業所) ※内訳 【多治見会場】 22名(20事業所) 【恵那会場】 13名(11事業所)	東濃5市の福祉課担当者に出席いただき、市ごとのグループで懇談会形式のグループワークを実施した。地域の事業所が抱えている課題や実状について情報や意見の交換をすることができた。 事後アンケートでは、出席したB型事業所担当者、市福祉課担当者ともに意見交換に対して好評の意見が多く、今後の継続を望む意見もいただいた。
			＜東濃・いろどりマーケット＞ 販売会、事業所パンフレット等の設置 手芸品、食品など各事業所の授産製品を出品	10/7(火) 10:00～ 14:00 10/8(水) 10:00～ 14:00	ルビットタウン中津川	10/7 販売 7事業所 チラシ 1事業所 10/8 販売 9事業所 チラシ 1事業所	就労継続支援B型事業推進協議会で課題として挙げあった販路拡大についての具体策として実施。大型商業施設の催事場を会場として開催した。企画段階から来年以降も恒例開催とするために販売会のタイトルをB型事業所からの投票形式で決定した。 参加事業所への事後アンケートでは、地域の一般客が立ち寄られ売り上げにつながった他、事業所のPRになったことや、事業所同士のコミュニケーションの場にもなったとの意見をいただいた。
			＜令和7年度 第2回就労継続支援B型事業推進協議会＞ ◆販売会の報告 ◆市役所との意見交換 ◆事例検討 ◆次年度副会長について	2/13(金) 13:30～ 15:00	【多治見会場】 東濃西部総合庁舎 【恵那会場】 恵那総合庁舎 ※両会場をZoom接続	37名(34事業所) ※内訳 【多治見会場】 27名(25事業所) 【恵那会場】 10名(9事業所)	今年度実施した推進協議会、販売会など活動内容を振り返った。前回好評であった行政機関との意見交換を継続し、アンケートで要望のあった事例検討についても実施した。 行政との意見交換では地域の実情や提案について意見交換をすることができた。事例検討ではピアグループスーパービジョンの方法で実施。今回は会長・副会長から事例を提供いただいたが、活発で前向きな展開に好評の声が多く、今後は参加者全体から希望を募る方法を検討していく。

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 研修事業	他圏域の先進事業所と交流し、利用者支援、活動、事業運営等について学ぶ	就労移行支援事業所・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所	＜視察研修＞ 視察先：岐阜県飛騨圏域 ◆NPO法人ハートネット ◆株式会社エイコク	9/2(火) 9:15～17:00	岐阜県高山市	15名 (11事業所)	障がい者の就労支援や雇用を先進的に取り組む他圏域の事業所から学ぶことを目的として実施。 参加者アンケートでは、多機能型事業所での地域企業と連携した事業展開に『とても参考になった』の回答を多数いただいた。企業では、企業目線の障がい者雇用に対する考え方や工夫に『とても参考になった』の回答を多数いただいた。
	障がい者雇用の促進や職場定着を図るため、取り組みや雇用事例等の情報を企業へ発信する。	地元企業	＜障がい者雇用セミナー＞ ◆行政説明 ハローワーク中津川 上席職業指導官 ハローワーク多治見 精神障害者雇用トータルサポーター ◆講義 『精神障がいのある人とともに働くということ』 聖十字病院	12/19(金) 13:30～16:00	瑞浪市 産業振興センター	37名 (28事業所)	精神障がい者の就労をテーマとして開催した。ハローワークからは障害者雇用に係る制度や雇用状況について説明いただいた。講演では精神科病院から講師を招き、精神障がいの基礎知識や職場での対応方法について講演いただいた。 参加者アンケートでは「精神障がいの理解が深まった」といった意見を複数いただいた他、環境整備の必要性を感じているとの感想もあった。将来の雇用や現在の雇用管理を考えていただく機会となった。
	障がい者就労支援に従事する方向けに、スキルアップや連携強化のための研修の機会を提供する。	就労移行支援事業所・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所	＜就労支援研修＞ ◆就労選択支援について 岐阜県東濃県事務所 福祉課 ◆講義 『就労支援のためのアセスメントの活用について』 岐阜障害者職業センター	11/17(月) 13:30～15:30	【多治見会場】 東濃西部総合庁舎 【恵那会場】 恵那総合庁舎 ※両会場をZoom接続	40名 (32事業所) ※内訳 【多治見会場】 27名(21事業所) 【恵那会場】 10名(9事業所)	支援者向けの研修と併せて現時点で公表されている就労選択支援事業について東濃県事務所福祉課から説明する場を設けた。 講義では講師を招き、アセスメントシートの活用例を紹介。事例をもとにペアワークでシートの活用を体験していただく内容となった。 事後アンケートではシートを活用した実践的な内容に『参考になった』との意見があった一方、シートの構造の理解や、B型事業所から一般就労を目指すことも困難さを感じられたといった意見をいただいた。
就労・雇用支援部会 地区別開催事業	一般就労に向けた現況への理解を深めると共に、障がい者の意識の向上と働くための心構えに関して学ぶ。 一般就労に向けた取り組み、指導方法についての助言を受け、支援に活かす。	東濃特別支援学校生徒 地元企業	＜多治見・土岐・瑞浪地区事業＞ ◆東濃特別支援学校紹介 ◆作業学習体験	9/19(金) 9:30～12:10	東濃特別支援学校	26名 (13事業所)	作業学習を通じて企業の方に障害のある生徒とふれあい、働く力を見ていただいた。 参加者アンケートを実施し、在学生の実習や卒業後の雇用など受入の意向を把握することができ、学校の進路指導担当者と結果を共有。後日、営業訪問につながった。
		恵那特別支援学校生徒 地元企業	＜恵那・中津川地区事業＞ ◆恵那特別支援学校紹介 ◆作業学習体験	10/11(金) 10:00～12:30	恵那特別支援学校	20名 (9事業所)	作業学習を通じて企業の方に障害のある生徒とふれあい、働く力を見ていただいた。 参加者アンケートを実施し、在学生の実習や卒業後の雇用など受入の意向を把握することができ、学校の進路指導担当者と結果を共有。後日、営業訪問につながった。
就労・雇用支援部会 啓発事業	就労・雇用支援を効果的に推進するため、情報整理・集計化を図り、各関係機関や企業、地域住民へ情報提供を行う	地元企業 地域住民 関係機関	＜ガイドブック更新＞ 東濃障がい者就労支援ネットワークのガイドブックを最新情報に更新し、令和7年度版を発行する。	7月発行	東濃障がい者就業・生活支援センターにて更新	—	ガイドブックは就労支援ネットワーク構成団体に配布し活用されている。 ホームページでは、支援機関や制度案内、ガイドブックのPDFデータなどを更新し、地域の方も各種情報を閲覧できるようになっている。
			＜ホームページ更新＞ 東濃障がい者就労支援ネットワークのホームページ更新を行うと共に情報の収集・発信を行う。	随時		—	